



校長通信

第37号 H30.10.9 (火)

「おはよう、今朝の気分は、どう?」、「おはよう、学校に遅れるわよ、はやくして!」。どちらが多いのでしょうか。子どもは心に温もりが蓄積されるあいさつを待っています。(戸田唯己「子どもの待っている一言」明治図書より)

教育目標「いのちを大切に、たくましく生きる児童の育成」

点描：いま、小丸山小では

スポーツの秋を駆ける



校内持久走大会について

期日は11月5日(火)。
昨年までのコース及び距離を変更しました。各学年児童の体力と安全面を考慮しました。

夏の暑さが遠のき、運動に適した季節となりました。長休み時間に「小丸山毎日マラソン」をおこなっています。10分間、各自のペースで走り、個別のカードに周回数を記録します。

英語教育公開研究会

参観者多数のなか元気よく学習する



仲間の前でよい手本を演じる1年



グループに分かれ、公開授業について熱心に話し合う参観者

10月5日、昨年に続き、県教委指定「英語教育強化拠点地域事業」公開研究会を開催しました。取組概要の説明、授業公開、授業整理会等が行われました。参観者は児童の姿に感心をしていました。

(余白に) 子どもの風景を詠む

秋祭り近づき来れば子供等は机の下でステップ踏みぬ (2011年詠)

秋祭り子ら日替わりに早引きす踊りのステップときおり見せて (2013年詠)

2学期になると各町では秋祭りの練習が始まります。本番間近の児童は獅子舞の踊り子として連夜の稽古に励みます。授業中、ふと児童の机の下を見ると、つま先が前後左右に動いています。無意識のステップです。祭りが平日の場合、児童は早退します。教室を出た子は軽やかなステップで帰っていきます。子どもらしい姿です。